

令和3年6月吉日

関係各位殿

長崎災害リハビリテーション推進協議会（長崎 JRAT）代表 松坂誠應

全日本病院協会長崎県支部 支部長 井上健一郎

長崎県日本病院会支部 支部長 栗原正紀

長崎県リハビリテーション支援センター代表 代表 松坂誠應

4 団体合同研修企画

＝コロナ禍に立ち向かうための多職種協働研修会開催について＝

4月後半には第4波を見据えたコロナ後方支援病院および後方支援病院などコロナ患者に対する新たな医療提供体制ができつつあった状況下で、想定外に早く（5月の連休中）、医療機関や施設等でクラスターが発生し、それぞれの医療機関等では地域医療の逼迫を少しでも回避することができるように、緊張感を持って日々の医療・介護等サービスの提供に従事されていることと思います。

さて、コロナ禍で浮き彫りになってきた課題は地域医療構想でも論議されています機能分化・連携の構築であり、更に重要なこととして「医療と介護・福祉（殊に医療機関と施設）の強固な連携構築」が危急の課題として挙げられるようです。そして、これら機能分化・連携等に関する課題解決の基盤として多職種協働の重要性が存在すると考えています。

これらの事柄を共通の課題と捉え、医療機関や介護施設等に従事するスタッフを対象に、以下のような内容を視野に“コロナ禍を多職種協働で乗り越えるための研修会（シリーズ）”を4つの団体の共同開催として提案する次第です。

【目標】

1. “職員みんなが ICT（Infection Control Team；感染制御チーム）メンバー”
感染防御に関する知識・技術の習得そして院内および施設内での徹底した（新）感染対策の展開
2. “みんなで助言者”
医療機関から介護・福祉サービス事業所や施設に対して啓発・助言が展開できる環境構築
3. “互いに支え合う医療と介護・福祉”
これらの研修会で各医療機関などが共に積極的に人材を育成し、縦・横の連携強化

を行うことで医療や介護・福祉施設等が互いに支えあう地域包括ケアに資する体制の構築

具体案としては

- ・第1弾：クラスターを経験し、乗り越えた施設からの経験談および現在コロナ病棟で関わっているリハビリテーション専門職から話題提供を頂き、これからのコロナ禍を如何に乗り越えるかの意見交換を行う
 - ・第2弾：感染症専門医からのレクチャー：我々はどうすべきかの助言
 - ・第3弾：コロナ病棟に従事する ICT 看護師から感染防御に関する具体的注意点、方法
 - ・第4弾：各病院における実技指導
- 等を検討しております。

このような人材の育成を病院や施設等の枠を超えて共に展開していくことが地域を守る医療機関等の重要な任務・役割だと考える次第です。

どうか、主旨をご理解いただき、貴病院・施設の職員の方々が本研修会に参加していただきますようご協力の程宜しくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染対策多職種研修会（開催概要）

【第1弾】

- (1) 日時：6月16日（水）18：00～19：30
- (2) テーマ：「新型コロナウイルス感染にどのように立ち向かうか？」
- (3) 研修会形式：オンライン形式（ZOOM）
- (4) 話題提供者（最後に30分程度の意見交換を行います）
 - 1) 介護現場でのクラスター経験から
演者) 本多 弘枝 氏 特別養護老人ホーム「めざめ」
座長) 松坂誠應 氏（長崎災害リハビリテーション推進協議会 代表）
 - 2) コロナ病棟から
演者) 看護師の立場から
宮川 祐一 氏 社会医療法人春回会 井上病院
演者) リハビリテーション専門職の立場から
夏井 一生 氏（理学療法士） 長崎みなとメディカルセンター
座長) 井上健一郎 氏全（日本病院協会長崎県支部 支部長）
- (5) 対象者
医療関係者、介護事業所・介護施設関係者、介護支援専門員 など
- (6) 参加費：無料
- (7) 申込方法

- ・QRコードからお申し込みください。
- ・前日までにURLをご連絡いたします。



【後援】

長崎県理学療法士協会 長崎県作業療法士会 長崎県言語聴覚士会
長崎県介護支援専門員協会

【問い合わせ】

長崎災害リハビリテーション推進協議会（長崎リハビリテーション病院内）
長崎市銀屋町4-11 Tel 095-818-2002 Fax 095-821-1187
Eメール：jimukyoku@zeshinkai.or.jp

担当：井手 吉野